

かながわビジネスオーディション2014 最終審査 発表ビジネスプラン概要

発表時間	13:30~13:45	No. 4	ビジネスプラン名	スキんケア機能を有した“塗るサプリメント”の開発・商品化																		
法人名・個人名	大河原テクノス(株)			代表者役職・氏名 代表取締役社長 大河原 孝																		
住 所	神奈川県横浜市中区尾上町5-80 神奈川県中小企業センタービル7階			電 話 045-323-9520																		
HPアドレス	http://ohgawara-tcn.jp/index.html			メール ohg@ohgawara-tcn.jp																		
事業の背景・ ねらい	背景;高密度衝撃波の技術で高分子油脂を直接25ナノ以下の低分子化する技術を確立 ねらい;ナノオイルにビタミン類を溶かした“塗るサプリメント”の開発と事業化 市場性;スキンケア化粧品、介護分野で高機能商品などが求められている 需要動向;1)天然由来の安全な商品、美容効果の高い高機能商品 2)介護分野でのヘルスケアオイル																					
経営理念・目標	経営理念;新たなイノベーション技術により価値の創造と地球環境に貢献する 目 標;1)健康・医療・介護分野向け“塗るサプリメント”の商品化、販売 2)ナノオイルに薬剤を添加した“塗る治療薬”の創出																					
事業概要	当社の独自技術である高密度衝撃波技術を用いて皮膚から浸透するなおオイルを製造し、それにビタミン類を添加した“塗るサプリメント”を開発・商品化する。対象となる消費者は、中高年齢層と在宅介護者である。事業の目的は、スキンケア化粧品分野でビタミン類を添加したナノオイルによる高機能スキンケア商品と、介護分野での在宅看護向けに床ずれ防止や皮膚のあかぎれ、ひび割れ防止のヘルスケアオイルの提供である。																					
事業概要図	<table border="1"> <thead> <tr> <th>項 目</th> <th>当社“塗るサプリメント”</th> <th>従来スキンケアオイル</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>皮膚への浸透性</td> <td>◎ 全量浸透、べとつかない</td> <td>△または× 皮膚表面に残留、べとつく</td> </tr> <tr> <td>界面活性剤等の有無</td> <td>無し 天然油脂を直接低分子化</td> <td>有り 各種界面活性剤等を添加</td> </tr> <tr> <td>ビタミン類の浸透</td> <td>◎ 各種ビタミン類の浸透が可能</td> <td>×</td> </tr> <tr> <td>血流促進</td> <td>◎ 毛細血管まで浸透・血流促進</td> <td>△または×</td> </tr> <tr> <td>保湿効果</td> <td>◎ ひび、あかぎれ等に有効</td> <td>○または△</td> </tr> </tbody> </table> <p>表1 他競合商品との比較</p>				項 目	当社“塗るサプリメント”	従来スキンケアオイル	皮膚への浸透性	◎ 全量浸透、べとつかない	△または× 皮膚表面に残留、べとつく	界面活性剤等の有無	無し 天然油脂を直接低分子化	有り 各種界面活性剤等を添加	ビタミン類の浸透	◎ 各種ビタミン類の浸透が可能	×	血流促進	◎ 毛細血管まで浸透・血流促進	△または×	保湿効果	◎ ひび、あかぎれ等に有効	○または△
	項 目	当社“塗るサプリメント”	従来スキンケアオイル																			
	皮膚への浸透性	◎ 全量浸透、べとつかない	△または× 皮膚表面に残留、べとつく																			
界面活性剤等の有無	無し 天然油脂を直接低分子化	有り 各種界面活性剤等を添加																				
ビタミン類の浸透	◎ 各種ビタミン類の浸透が可能	×																				
血流促進	◎ 毛細血管まで浸透・血流促進	△または×																				
保湿効果	◎ ひび、あかぎれ等に有効	○または△																				
<table border="1"> <thead> <tr> <th>項 目</th> <th>内 容</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>ナノ化技術</td> <td> <ul style="list-style-type: none"> ・3,000気圧(水中)の高密度衝撃波でオイルを直接低分子化 ・オイルを皮膚から浸透できる分子量まで低分子化 ・オイルのクラスター(集合体)も破砕化 </td> </tr> <tr> <td>“塗るサプリメント” の概念図及び効果</td> <td> <p>細胞に吸収されながらビタミン類が毛細血管まで到達する。ビタミン類</p> <p>通常のオイルは表面に残留</p> <p>毛細血管</p> <p>ビタミン添加ナノオイル浸透モデル</p> <p>塗布後の皮膚の表面温度</p> <p>表面温度(℃)</p> <p>経過時間(分)</p> <p>ナノオイル 処理液</p> <p>未処理液</p> </td> </tr> <tr> <td>市場性</td> <td> <ul style="list-style-type: none"> ・高機能化粧品(スキンケア用);中高年の需要増加 ・介護分野ヘルスケア(床ずれ防止、ひび、アカギレ防止);在宅介護人口の増加 ・医薬品分野(“塗る抗がん剤”等);皮膚がん人口の増加 </td> </tr> <tr> <td>顧客のメリット</td> <td> <ul style="list-style-type: none"> ・ビタミン類を添加したナノオイルによる肌の加齢防止。 ・皮膚の血流促進、高い保湿性が得られる。 ・飲用困難な高齢者でも“塗るサプリメント”として利用できる。 ・将来的には、“塗る医薬品”の創薬化。 </td> </tr> </tbody> </table> <p>表2 “塗るサプリメント”の概念、効果、</p>					項 目	内 容	ナノ化技術	<ul style="list-style-type: none"> ・3,000気圧(水中)の高密度衝撃波でオイルを直接低分子化 ・オイルを皮膚から浸透できる分子量まで低分子化 ・オイルのクラスター(集合体)も破砕化 	“塗るサプリメント” の概念図及び効果	<p>細胞に吸収されながらビタミン類が毛細血管まで到達する。ビタミン類</p> <p>通常のオイルは表面に残留</p> <p>毛細血管</p> <p>ビタミン添加ナノオイル浸透モデル</p> <p>塗布後の皮膚の表面温度</p> <p>表面温度(℃)</p> <p>経過時間(分)</p> <p>ナノオイル 処理液</p> <p>未処理液</p>	市場性	<ul style="list-style-type: none"> ・高機能化粧品(スキンケア用);中高年の需要増加 ・介護分野ヘルスケア(床ずれ防止、ひび、アカギレ防止);在宅介護人口の増加 ・医薬品分野(“塗る抗がん剤”等);皮膚がん人口の増加 	顧客のメリット	<ul style="list-style-type: none"> ・ビタミン類を添加したナノオイルによる肌の加齢防止。 ・皮膚の血流促進、高い保湿性が得られる。 ・飲用困難な高齢者でも“塗るサプリメント”として利用できる。 ・将来的には、“塗る医薬品”の創薬化。 								
項 目	内 容																					
ナノ化技術	<ul style="list-style-type: none"> ・3,000気圧(水中)の高密度衝撃波でオイルを直接低分子化 ・オイルを皮膚から浸透できる分子量まで低分子化 ・オイルのクラスター(集合体)も破砕化 																					
“塗るサプリメント” の概念図及び効果	<p>細胞に吸収されながらビタミン類が毛細血管まで到達する。ビタミン類</p> <p>通常のオイルは表面に残留</p> <p>毛細血管</p> <p>ビタミン添加ナノオイル浸透モデル</p> <p>塗布後の皮膚の表面温度</p> <p>表面温度(℃)</p> <p>経過時間(分)</p> <p>ナノオイル 処理液</p> <p>未処理液</p>																					
市場性	<ul style="list-style-type: none"> ・高機能化粧品(スキンケア用);中高年の需要増加 ・介護分野ヘルスケア(床ずれ防止、ひび、アカギレ防止);在宅介護人口の増加 ・医薬品分野(“塗る抗がん剤”等);皮膚がん人口の増加 																					
顧客のメリット	<ul style="list-style-type: none"> ・ビタミン類を添加したナノオイルによる肌の加齢防止。 ・皮膚の血流促進、高い保湿性が得られる。 ・飲用困難な高齢者でも“塗るサプリメント”として利用できる。 ・将来的には、“塗る医薬品”の創薬化。 																					
目標売上高	平成25年度	5,000千円	平成26年度	25,000千円																		
	平成27年度	50,000千円	目標達成期	170,000千円																		
今後の課題 と対策	<ol style="list-style-type: none"> 1. 製品開発時の課題 <ol style="list-style-type: none"> 1) 皮膚からの浸透データの確保 2) ビタミン添加の具体的な効果の検証 3) 床ずれ防止効果の確認・検証 2. 製造時の課題 <ol style="list-style-type: none"> 1) ナノオイルの製造時品質管理 2) ビタミン添加型オイルの製造時品質管理 																					